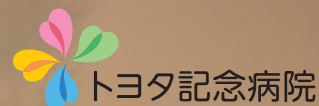


2025 spring 春号

地域と病院をつなぐコミュニケーション情報誌

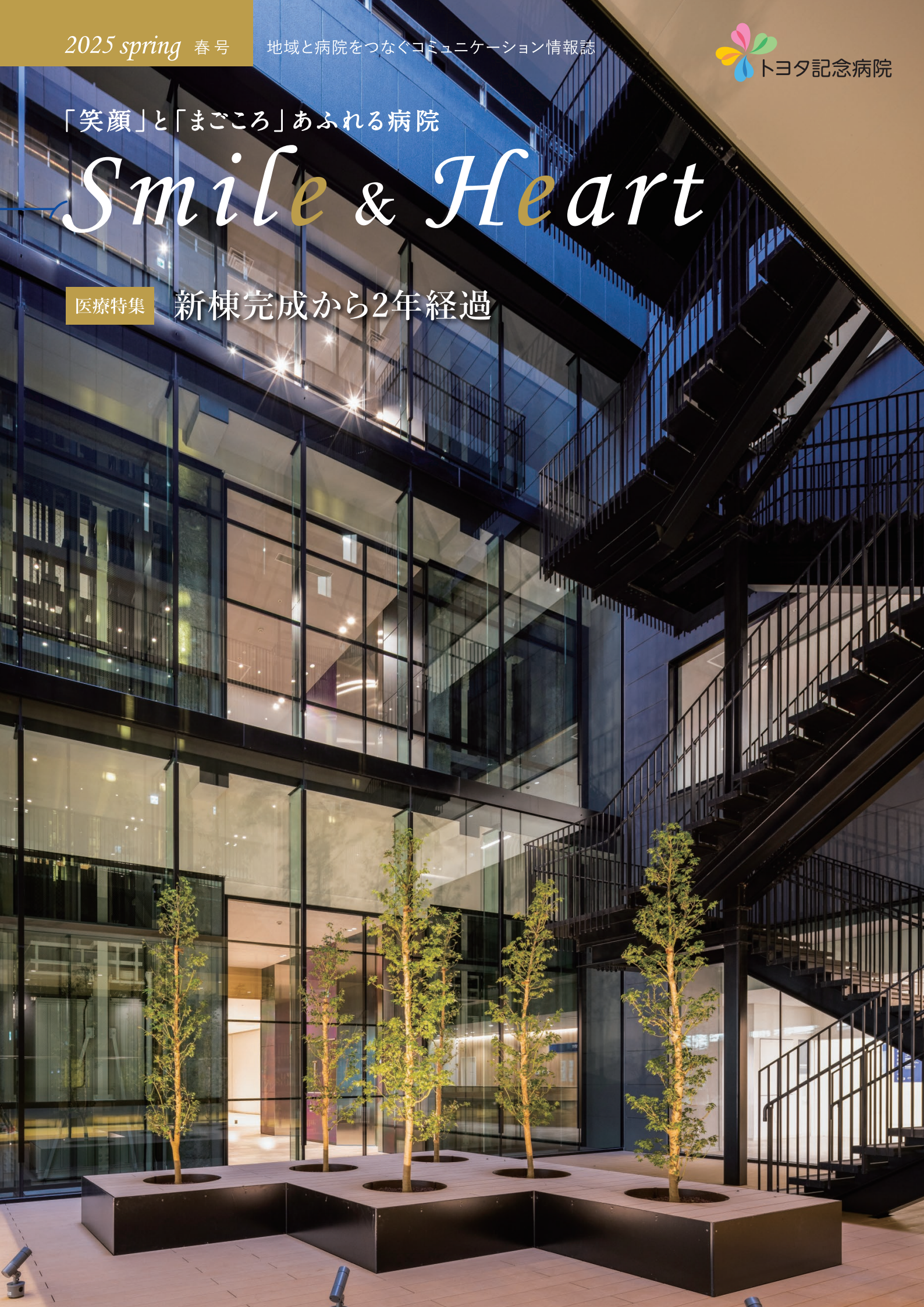


「笑顔」と「まごころ」あふれる病院

Smile & Heart

医療特集

新棟完成から2年経過



居心地のいい ホスピタリティ空間を目指して

約2年前に新しくなった新棟では、清潔な環境の中で、薬剤などを搬送するロボットとスタッフが共に働いています。
搬送ロボットの導入により看護師の負担が軽減され、患者さまと接する時間が増えたことで、
患者さまのニーズに応じた看護を提供できるようになっています。

看護を行う中で、患者さまやそのご家族からいただく「ありがとう」の言葉の重みを日々実感しています。
この言葉は決して当たり前のものではありません。どのような看護を提供できるのか、
常に考えながら患者さまと向き合っています。

6C病棟 看護師 松本 梓



病棟

床はカーペットになっており、足音を気にせず快適にお過ごしいただけます。また、各病棟にデイルームがあり、入院中에서도ご家族との大切なお時間をお過ごしいただけます。



病室

相部屋から個室、特別室まで、患者さまのご要望に合わせてお部屋をご提案いたします。
個室は1日あたり7,480円(税込)～
※詳しくはホームページまたはスタッフにご確認ください。



ホームページは
こちらから



エントランスホール



レストラン



コンビニ



カフェ



外来診療、ご入院、ご面会などでお越しの方が、より便利で快適な時間を過ごせるように本館1Fにはカフェ、本館5Fにはレストランとコンビニを設けました。レストランからは見晴らしの良い景色を眺めながら食事をお楽しみいただけます。

外来呼び出し機

受付後、診察時間が近づくと「外来呼び出し機」でお知らせいたします。診察室の前で、呼び出し番号が表示されるモニターを見続ける必要がありません。



中待合



再来受付機



外来ホール



後払いシステム、精算機

病棟を含め院内には精算機を8台設置しています。また、外来医療費後払いサービスを導入しており、診察前に専用端末にて受付していただくことで、診察後お会計を待つことなく、すぐに帰宅することができます。



健康講座

地域の方を対象に「健康講座」を開催しています。病気の解説、予防方法などを分かりやすくお伝えします。

【メインテーマ】

慢性腎不全って何？ 守ってあげたい私の腎臓

日常生活に気を付け腎臓を守っていくことが大切です。
今回は「慢性腎臓病(CKD)」についてお話しします。

▶ Youtubeで「健康講座」公開中！



慢性腎不全って何？

腎臓内科 科部長 山本 義浩

腎臓は尿を作り、体内の不要なものや余分な水分を排出する役割を果たしています。また、血圧を調整したり、体の中のミネラルのバランスを保つ役割もあります。

しかし、腎臓が悪くなると、「慢性腎臓病(CKD)」と呼ばれる病気が進行し、腎臓の働きが低下します。これにより、体に老廃物がたまり、むくみや高血圧、貧血などの症状が現れることがあります。進行すると、透析や腎移植が必要になることもあります。

CKDにならないために、日常生活で気を付けるべきポイントは次の通りです。まず、定期的に血圧を測り、正常な範囲を保つことが大切です。

次に、適度に運動を行い、食事を工夫して塩分摂取を控え、



腎臓リハビリテーションと運動

理学療法士 竹谷 健吾

腎臓の健康を保つためには、適度な運動が重要です。慢性腎臓病は徐々に進行する病気で、早期からのリハビリテーションがその進行を遅らせる助けになります。腎臓リハビリテーションは、腎臓病を抱える方の生活の質を向上させることを目指し、運動指導を通じてサポートします。運動は腎臓の機能を維持し、体力全体を向上させる効果があります。具体的には、筋力を保ち、疲れにくい体を作るのに役立ちます。運動を取り入れることで、腎臓の健康が長続きすることも期待できます。おすすめの運動は、ウォーキングや筋力トレーニングです。運動習慣がある方は1日8,000歩、ない方は5,000歩を目指してみてください。週に3～5回、1日合計して20～60分程度、有酸素運動と筋力トレーニングを組み合わせることが理想的です。例えば1回10分程度の運動を1日の中で何回かに分けて行うことも効果的です。運動の強さは「少しきつい」と感じる程度が効果的です。無理をせず、自分のペースで続けることが大切です。動画では楽しみながら取り組める運動も紹介していますので、ぜひご視聴ください。健康的な生活を維持するために、無理のない範囲で運動を続け、腎臓を大切にしましょう。



動画公開中

高血圧を予防することも重要です。

運動と食事については、理学療法士と管理栄養士から詳しく解説していますので、下記よりぜひご確認ください。また、定期的に健康診断を受けて異常がないか確認しましょう。

これらのポイントを日常生活に取り入れて、健康を守りましょう。当院では医師、看護師、理学療法士、管理栄養士など多職種で連携し、患者さまに合わせたサポートを提供しています。

何か分からないことや相談したいことがあれば、ぜひお気軽に当院までお越しください。地域の皆さまの健康を全力でサポートいたします。



動画公開中



慢性腎臓病予防と食事

管理栄養士 濱島 佑佳

腎臓を守るためには、日々の生活習慣を見直すことが大切です。特に食事の工夫は、慢性腎臓病を予防するために効果的です。腎機能低下の主な原因には、高血圧、メタボリックシンドローム、糖尿病などがあります。これらは生活習慣病として知られており、予防することが腎臓を守ることに繋がります。

まず、血圧をコントロールするためには塩分の調整が重要です。日本人の平均的な塩分摂取量は1日10.1gですが、目標は6gです。料理の味を楽しみながら塩分を減らすために、旨味や酸味、香味野菜、香辛料の活用がおすすめです。また、漬物や加工食品、汁物を控えることも効果的です。次に、メタボリックシンドロームも慢性腎臓病の発症リスクを高めます。適切な体重を維持することが重要です。定期的に体重測定をしながら、食事量の調整や運動を行い体重を管理していきましょう。また、糖尿病予防のためには、主食、主菜、副菜を揃えたバランスの良い食事を心がけ、主食の偏りに注意する必要があります。

日常の食生活を見直し、できることから始めて腎臓の健康を守りましょう。



動画公開中

地域医療連携

皆さまの健康を支える地域の医療機関についてご紹介します

みよしうちだハートクリニック

風邪・怪我から心臓・血管疾患まで頼れるかかりつけ医として
良質な医療を提供いたします

私たちはみよし市黒笹に位置する循環器内科・外科・血管外科を専門としたクリニックです。

循環器内科では、高血圧や高脂血症、糖尿病などの生活習慣病やこれらに関連する虚血性心疾患、心臓弁膜症、不整脈、大動脈瘤、心臓手術後のフォローアップを行っています。また、外科では外傷(怪我)の処置を中心に外来診療を実施しています。血管外科では、下肢静脈瘤や透析シャントに関連する手術や血管内治療を日帰りで行っています。特に下肢静脈瘤の手術は地域での選択肢の一つとして提供しています。また、各種予防接種や健康診断も行っており、CT検査による内臓脂肪の計測など、ご希望に応じて対応いたします。

私たちの医療チームは、心臓外科専門医や循環器内科専門医として20年の経験を積んだ医師と、それぞれの領域のプロフェッショナルな専門スタッフが揃っており、地域の皆さまに質の高い医療を提供することを目指しています。お悩みの症状については、医師やスタッフにお気軽にご相談ください。



院長 内田 亘

【住所】〒470-0201 みよし市黒笹町前田14番1
【電話番号】0561-76-3123
【診療科目】内科、循環器内科、外科
【診療時間】9:00～12:00、17:00～19:00、13:00～16:00(手術)
【休診日】木曜、土曜午後、日曜、祝日



平岩皮フ科

信頼できる肌のかかりつけ医として
丁寧な診療を行っています

当院は、地域の皆さまに信頼される皮膚科医療を提供することを目指し、尊敬する平岩先生から継承し一般皮膚科診療のクリニックとして今年1月に開業しました。診療のモットーは、先代の理念を受け継ぎ「正確な診断とわかりやすい説明で患者さんに納得と安心をお届けする」ことです。皮膚の症状は、日常生活の快適さに直結するため、一人ひとりの状態に合わせた適切な治療を心がけています。

アトピー性皮膚炎、湿疹、蕁麻疹、ニキビ、水虫、いぼ乾癬脱毛症多汗症など、幅広い皮膚疾患に対応し、小さなお子さまからご年配の方まで、どなたでも安心して通院できる環境を整えています。また、重症例や専門的な検査・治療が必要な場合には、20年以上の皮膚科勤務医の経験を生かし適切な医療機関と連携し、最善の医療を提供できるよう努めています。

「ちょっとした皮膚の悩みでも相談してよかった」と思っていただけのような親身な診療を心がけてきます。肌のお困りごとはぜひ当院にご相談ください。



院長 足立 秀禎

【住所】〒470-0224 みよし市三好町大坪22
【電話番号】0561-33-1500
【診療科目】皮膚科
【診療時間】9:00～12:00、16:00～18:30、9:00～13:00(土曜)
【休診日】水曜、土曜午後、日曜、祝日



患者支援センターからの
お知らせ

かかりつけ医を
お持ちですか？

トヨタ記念病院は専門的な検査や治療、入院・救急医療など、急性期医療を提供する「**地域医療支援病院**」です。当院での検査・治療を受けて病状が安定した患者さまには、近隣の開業医の先生をご紹介します。患者支援センターは、皆さまの「**かかりつけ医**」を探すお手伝いをいたします。お気軽にご相談ください。
トヨタ記念病院と連携している医療機関をホームページで検索できます。



医療機関
検索ページ

【当院からのお願い】カスタマーハラスメントについて

患者さまやそのご家族からの不適切な要求や言動が、医療従事者の働く環境に悪影響を及ぼす行為として近年医療現場において「カスタマーハラスメント」が問題視されております。具体例を挙げると右記のとおりであり、これらの行為は医療従事者に心身の負担をかけ、結果的に患者さまへの医療サービスにも影響を及ぼす可能性があります。私たちは、ハラスメントのない職場環境を整えることが重要な責務と考えています。万が一、カスタマーハラスメントが確認された場合、患者さまの診療や対応をお断りすることがあり、悪質な場合には外部専門家と連携して厳正に対処いたします。地域の皆さまには、ご理解とご配慮をお願い申し上げます。

～皆さまが安心してご利用いただける対応を
職員が継続して行っていくために～



当院が考えるカスタマーハラスメントの例

- ・暴言、暴力
- ・脅迫、威嚇、威圧行為
- ・ストーカ行為、プライバシーの侵害行為、セクハラ・ハラスメント行為
- ・侮辱、中傷、人格否定する発言
- ・社会通念上過剰なサービスや対応の要求
- ・合理的な理由のない謝罪要求
- ・同じ要求等の繰り返しによる時間的・場所的拘束
- ・SNSやインターネット上での誹謗中傷

※上記事象が発生した場合は、診療や対応をお断りさせていただくことがあります。

トヨタ記念病院の働き方を世界にも

海外の医学生が当院の見学にお越しくださいました。トヨタ生産方式の核心である「ムダを徹底的に排除する」ことを実際に体験した後に、具体的に「カイゼン」が行われた医療現場を見学いただきました。参加者からは、効率的な働き方について実践的な知識を得ることができたとのコメントをいただきました。このような取り組みを通じて、地域医療への貢献だけでなく、トヨタの働き方を紹介することで世界の医療にも貢献しています。



季節の病気対策

花粉症

花粉が舞う季節、快適に過ごせるようにしっかりと対策しましょう

春は多くの人が花粉症に悩む季節です。花粉症は、主にスギやヒノキなどの木々から飛散する花粉が原因で、くしゃみや鼻水、目のかゆみといった不快な症状を引き起こします。これは、体の免疫システムが花粉を異物と誤認し、過剰に反応するためです。花粉症を軽減するためには、いくつかの対策があります。まず、外出時にはマスクを着用し、花粉の吸入を防ぎましょう。さらに、帰宅後は衣服を着替え、うがいや洗顔を行って、

体に付着した花粉を洗い流すことが大切です。また、窓を閉めて室内の花粉を減らし、空気清浄機を使用するのも効果的です。症状がひどい場合は、早めに専門医に相談し、適切な治療を受けることが重要です。健康で快適に過ごすためにも、しっかりと対策を取りましょう。

